

鳥取教弘

編集 公益財団法人
日本教育公務員弘済会
鳥取支部

発行 (株)鳥取教弘
鳥取市末広温泉町608番地
TEL (0857) 26-5334
FAX (0857) 22-0248

第80号

令和5年11月

メールアドレス: t-kyoko.t.y@topaz.ocn.ne.jp



言葉でつながる学級会
「今の意見、いいね!」

令和5年度日教弘鳥取支部奨励金助成校 鳥取市立富桑小学校（校内授業研究会の様子）

目次

- | | |
|--|---------------------------------|
| ●副支部長あいさつ…………… P 1 | ●教職員のための教弘保険…………… P 18 |
| ●令和5年度の事業の様子…………… P 2 | ●教職員のための損害保険…………… P 20 |
| ●日教弘鳥取支部奨励金（学校・園教育
研究）助成校・園の取り組み…………… P 4 | ●教職員のための自動車保険…………… P 21 |
| ●花いっぱい運動…………… P 15 | ●鳥取支部教育実践研究論文募集 …… P 23 |
| ●頑張り!! 給付奨学生…………… P 15 | ●日教弘奨学金
（大学生等対象の貸与奨学金）… P 23 |
| ●ご退職予定の教職員の皆さまにお知らせ P 16 | |



ごあいさつ

公益財団法人日本教育公務員弘済会鳥取支部

副支部長 野崎 淳介

日頃より弘済会事業の推進にご理解とご支援を賜っておりますことに感謝申し上げます。

今年は猛暑日の連続で、全国的に過去最高に熱い夏となりました。また海水温の上昇のため台風が頻発し、鳥取県でも台風7号の記録的大雨により県東部・中部で道路が崩落したり橋が流されたりして、大きな被害が出ました。改めて心よりお見舞い申し上げます。

さて、数年来猛威を振るってきた新型コロナウイルス感染症が5月8日をもって5類感染症に移行され、ようやく学校現場にも日常が戻ってきたように感じています。先生方には子どもたちのはじけるような笑顔が復活し、マスクを外して普通に過ごせ、友達と普通に会話ができるすばらしさを実感していることでしょう。

弘済会鳥取支部では今年度新規事業として大学生への奨学金給付と小・中・義務教育学校への教育図書贈呈を始めました。

大学生への奨学金は昨年の募集を経て、すでに今春4月から給付が始まっており、現在は第2期生の選考の段階にきているところです。採用は3名ですが、月額3万円×4年間給付ということもあり、今年度も多くの応募がありました。高校生給付奨学金に続く大学生給付奨学金ということで高校の先生方から大変喜んでいただいているのはもちろんですが、夢をもって真剣に学業に取り組んでいる生徒本人の喜びの言葉に胸を打たれ、この奨学金のもつ意義の大きさを感じています。

また教育図書贈呈は県下全ての小・中・義務教育学校に教育図書を贈呈する取り組みです。予算の関係上完遂には数年かかりますが、子どもたちの読書活動や調べ学習に大いに役立てていただきたいと思います。図書室は子どもたちにとって学校の中でも居心地のいい、そして夢のある場所です。そのような場所づくりに微力ですがお手伝いできることに喜びを感じています。

弘済会鳥取支部では「明日を担う子どもたちのために 最終受益者は子どもたち」というスローガンのもと、人材育成、教育・文化の向上発展のために公益財団法人として教育振興事業を推し進めています。先生方のお一人おひとりにご理解とご支援をいただければこそ私たちの取り組みが進んでまいります。

是非とも多くの先生方に趣旨を理解し、この「助け合いの輪」に入ってくださいことを強く願っています。



令和5年度の事業の様子

教育の振興に寄与・貢献することを使命として
明日を担う子どもたちのために

最終受益者は
子どもたち

教育振興事業

(公益目的事業)

人材の育成、教育・文化・スポーツの向上発展のために
(奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業の取り組み)

公益財団法人日本教育公務員弘済会鳥取支部は、「将来社会に貢献しうる有為の人材を育成するため、優秀な学徒に対し奨学金の貸与及び給付、教育一般、特に有益な研究に対する助成および教育関係者の福祉向上をはかり、もって鳥取県における人材の養成並びに社会教育文化の向上発展に寄与することを目的とする」としています。この目的達成のため本県教育の振興に資するために奨学事業、教育研究助成事業・教育文化事業の取り組みを行っています。

一 奨学事業

- 1 日教弘奨学金（貸与奨学金）**・・・大学生、専門学校生等対象（1人最高100万円）
貸与人数 29人 貸与額 2,375万円
- 2 給付奨学金**・・・高校生等対象（1人10万円）
各校2人 給付人数85人 給付額 850万円
- 3 給付奨学生**・・・大学生対象
修学意欲がありながら学資金の支払いが特に困難と認められる者に対して、返還義務のない奨学金を給付し、大学への進学及び修学の継続を支援します。
給付人数3人（1人に対し月額3万円を上限を4年間として支給します。）

二 教育研究助成事業

1 教育研究助成事業

(1) 鳥取支部募集教育実践研究論文・・・**ただいま募集中です。**

教育に関する特に有益な研究をなし、教育の向上発展に寄与すると認められる学校・園（団体）及び個人（グループ）に助成を行います。

募集期間・・・令和5年7月1日から令和6年1月25日

(2) 公益財団法人日本教育公務員弘済会（日教弘教育賞）・・・推薦しました。

◇学校部門 該当なし

◇個人部門

・日野町立日野学園 教諭 長尾 信

「ペア学習を取り入れた反転授業の実践」

～ホワイトボードを活用した対話的活動で、

主体的に取り組む生徒の育成を目指して～

(3) 公益財団法人東京海上日動教育振興基金・・・推薦しました。

◇学校研究 該当なし

◇個人研究

- ・鳥取県立鳥取工業高等学校 主幹教諭 尾崎昭彦
「鳥工版STEAM教育の取り組み」
～鳥取県の発展を目指して～

2 教育研究助成

(1) 日教弘鳥取支部奨励金（学校・園教育研究助成）〈210万円〉

学校・園教育、社会教育、学術、芸術、伝統文化（技能、芸能）、医療、福祉、建築、デザイン、工芸、ファッション、環境保護等の各分野において、社会、文化の向上発展に寄与する有益な研究・活動等に対する助成を行う。（1校・園 10万円）

今年度は、小学校12校、中学校6校、国・県立学校1校、私立幼稚園・認定こども園2園へ助成を行いました。（21校・園 210万円）

〔日教弘鳥取支部奨励金（学校・園教育研究）助成校・園〕

- 【小学校】助成校 12校 富桑小 湖山小 津ノ井小 美保南小 郡家西小 明倫小 泊小
赤碕小 明道小 福生西小 日吉津小 名和小
- 【中学校】助成校 6校 国府中 千代南中 鴨川中 大栄中 福米中 南部中
- 【国・県立学校】助成校 1校 鳥大附属特別支援
- 【私立幼稚園・認定こども園】助成園 2園 かいけ心正こども園 愛真幼稚園

(2) 教育団体研究助成 〈283.4万円〉

教育の充実向上を目的に、顕著な研究を行う全県規模の団体に助成する取り組みです。申請にもとづき以下の団体に助成を行っています。

- ◇鳥取県小学校長会
- ◇鳥取県中学校長会
- ◇鳥取県高等学校長協会
- ◇鳥取県特別支援学校長会
- ◇鳥取県公立学校教頭会
- ◇鳥取県立学校副校長・教頭会
- ◇鳥取県公立小中学校事務職員研究会
- ◇鳥取県学校保健会養護教諭部会
- ◇鳥取県学校栄養士協議会
- ◇鳥取県立学校事務長会
- ◇鳥取県立学校事務職員協会
- ◇鳥取県私立中学高等学校長会
- ◇鳥取県私立中学高等学校副校長・教頭会
- ◇鳥取県私立中学高等学校事務長会
- ◇鳥取県教育研究集会
- ◇鳥取県国公立幼稚園・こども園長会
- ◇鳥取県私立幼稚園・認定こども園協会
- ◇小・中・県立学校の地区別校長会（21団体）

(3) 教育研究大会助成 〈52万円〉

本県を会場に行う教育研究全国大会及び地区大会に助成する取り組みです。

- ◇令和5年度第59回全国農業経営者育成高等学校研究協議大会兼第37回全国農業特別専攻科研究協議会
- ◇日教組中国地区カリキュラム編成講座
- ◇令和5年度中国地区高等学校通信制教育研究協議会及び中国地区高等学校通信制放送教育協議会
- ◇令和5年度第58回全国高等学校体育連盟研究大会
- ◇第54回全国看護高等学校研究協議会（鳥取大会）
- ◇第70回中国地区小学校長会教育研究大会鳥取大会・令和5年度鳥取県小学校長会教育研究大会

【助成基準】 参加人数 200人以上10万円 199人～100人8万円 99人以下6万円

三 教育文化事業

1 教育文化助成

(1) 教育講演会等への助成〈50万円〉

広く県民、教育関係者、父母・保護者を対象として全県規模で開催される有益な教育講演会等に対して行う助成として、本年度は以下の団体に助成しました。

- ◇鳥取県PTA協議会
- ◇鳥取県高等学校PTA連合会
- ◇鳥取県特別支援学校PTA連合会
- ◇青少年育成鳥取県民会議

(2) 芸術・文化活動助成〈30万円〉

学校における芸術・文化活動の奨励のために、本年度は以下の団体に助成しました。

- ◇鳥取県中学校文化連盟
- ◇鳥取県高等学校文化連盟

(3) スポーツの振興〈30万円〉

スポーツの振興に寄与するために、本年度は以下の団体に助成しました。

- ◇鳥取県中学校体育連盟
- ◇鳥取県高等学校体育連盟
- ◇鳥取県スポーツ少年団

(4) 教育図書贈呈事業〈約164万円〉


今年度からの新規事業、5年間で県内すべての小・中・義務教育学校へ贈呈します。


児童生徒の読書活動が一層盛んになり、教育がより充実発展すること願い、以下33校に贈呈しました。


- 【小学校】20校 醇風小 東郷小(鳥取) 世紀小 末恒小 米里小 用瀬小 浜村小 岩美南小 八東小 河北小 上灘小 社小 羽合小 義方小 啓成小 就将小 車尾小 中浜小 西伯小 会見小
- 【中学校】12校 鳥取西中 鳥取北中 青谷中 倉吉西中 河北中 三朝中 淀江中 箕蚊屋中 中山中 日南中 鳥大附属中 青翔開智中
- 【義務教育学校】1校 福部未来学園


日教弘鳥取支部奨励金（学校・園教育研究）助成校・園の取り組み



学 校 名	鳥取市立富桑小学校
研究テーマ	「豊かに関わり、よりよく生きる児童の育成」 ～言葉でつながり、互いのよさや可能性を 発揮しながら高め合う集団づくりを目指して～
研 究 の 概 要	
<p>本校は、昨年度から特別活動を研究の中心とし、特に学級活動(1)に焦点をあて「高め合う集団づくり」を進めてきた。学級会の充実した話し合いによる「合意形成」を行う力は、日々の生活にも生かされると考える。また、互いに認め合うことの経験は、それぞれの自己肯定感の向上や、よりよい集団や生活への意欲の向上にもつながると考える。さらに、特別活動における経験の積み重ねは、主体性ややり遂げる力の向上につながり、各教科の学力向上にも結び付くと考えている。本年度の取組の重点は以下の通りである。</p> <p>【取組の重点】</p> <p>(1) 特別活動における取組（互いに認め合いながら、高め合う自治的集団づくりを目指す）</p> <p>①学級活動(1)の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前から事後まで一連を見通した活動を行う。(事前の議題決定から、決定したことの実行まで) ・学級会における、合意形成の場面での話し合う力の育成(提案理由を意識した話し合い)と教師の指導・支援の在り方について研究を深める。 <p>②児童会活動・クラブ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会活動では、児童が主体的に組織をつくり、創意工夫した活動の展開を目指す。 ・クラブ活動では、異なる学年の児童と協力し、児童が計画を立て運営するクラブ活動を行う。 <p>(2) 国語科の取組（つながり合う言葉の力の育成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俳句づくり…毎月俳句づくりに取り組み、季節感や場面に適した言葉が使えるようにする。 <p>(3) 算数科の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元到達度評価問題の活用…単元でつけたい力の確認をした上で学習指導を行う。達成度を確認し、次の指導に生かす。めあて・まとめ・ふりかえりを見通した、構造的な板書を意識した授業を行う。 	


学 校 名	鳥取市立湖山小学校
研究テーマ	わかる！できる！楽しい！をめざした授業づくり ～児童の実態に応じた授業づくりを考える～
研 究 の 概 要	
<p>本校では、「勤勉・自治・誠実『志をもち 心やさしく 最後までやりぬく子どもの育成～つよく、やさしく、たくましく～』」を教育目標として、日々の教育活動に取り組んでいる。前年度までは算数科を研究教科とした授業のUD化について全教職員で理解を深めてきた。本年度はそこで培った理念をもとにしながら引き続き算数科を研究教科として設定し、児童の実態を把握し、それぞれに適切な学びの場を提供することを目指している。また、本校が勤務年数10年未満の教職員で過半数を占める現状から、教員自身が日々の授業実践で感じている課題を解決していくこともねらいとして、相互の実践を公開し、積極的な意見交換を行うことで教師自身の授業力向上にも取り組んでいる。</p> <p>【具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年間1人1授業公開（全体研3回、グループ研5回） <ul style="list-style-type: none"> ・全体研2回は指導助言者として下村岳人先生（鳥根大）が来校。 ・グループ研は低・中・高学年、特別支援部に分かれ、事前研と事後研を行う。 ○子どもの実態把握 <ul style="list-style-type: none"> ・単元到達度テストの実施・分析 ・中学校校区共通アンケートの実施・分析 ○「わかる」「できる」授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ・UDの視点（視覚化、焦点化、共有化）を生かしつつ、授業を構成し、実践する。 ・ICTの活用による授業の視覚化と共有化の工夫、家庭学習の個別最適化を図る。 ・全学年にホワイトボードを配布し、児童同士の意見交換や新たな考え方の創造的活動を推進する。 	
	 <p style="text-align: center;">ICTを活用した授業研究会の様子</p>


学 校 名	鳥取市立津ノ井小学校
研究テーマ	「進んで学び、つながりを大切にしながら考えを深める児童の育成」
研 究 の 概 要	
<p>本年度は、研究主題の達成のために、基礎となる2つの点「魅力ある授業づくり」と「つながり合う学級づくり」のそれぞれにおいて、付けたい資質・能力を明確にして魅力ある学習活動を組むことに視点を当て、校内研究を進めている。加えて、ICTを効果的に活用したり図書資料や動画資料を活用したりすることにより、情報活用能力と言語能力、問題発見・解決能力の育成をめざす。</p> <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「魅力ある授業づくり」部会 <p>教師自身が一番得意な教科・今年度ぜひ取り組んでみたい授業実践を互いに見合うことを通して、授業力アップをめざす。授業づくりにおいて、「付けたい資質・能力をはっきりとモチ、情報活用能力育成等の視点をもつ授業づくり」を行う。</p> ②「つながり合う学級づくり」部会 <p>学級・学校生活づくりの一部分を児童主体の話合いに任せることで児童の参画意識を向上し、指導者の関わり方を模索することで学級経営力の向上をめざす。</p> ③タブレット端末や情報活用の視点 <ul style="list-style-type: none"> ①②の研究を土台としながら、さらに「深い学び」の比重を高め、考える力を育成していく。知識を構造化して問題解決に活用できるようにすることや、問題に合わせて問題解決のための道具・手段として思考ツールやICT機器などを使って考える力を育てることなどを進めていく。 	
	


学 校 名	倉吉市立明倫小学校
研究テーマ	「自ら学び、互いに関わりながら、学んだことを活用する児童の育成」
研 究 の 概 要	
<p>本校では算数科を研究教科とし、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と数学的な思考力・表現力の育成に重点を置き、実践をこれまで積み上げている。児童が根拠や理由をもとに自分の考えを説明したり、友だちの考えにつなげたりして自分の学びや生活で活用する姿をさらに目指し、課題の一つでもある自己表現力の弱さを改善していくために取り組みを進めている。</p> <p>○目指す児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを、根拠をもとに表現できる児童 ・基礎的な学力を身につけた児童 ・授業で学んだことを活用できる児童 <p>○研究の視点及び取り組み</p> <p>(1) 自分の考えをもとに表現できる指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①事実 ②方法 ③理由に分類しての説明や記述 ・「書くこと」(「3Z」・・・①時間、②字数制限 ③条件付与)による表現活動の積み上げ <p>(2) 評価問題と練習問題の確実な実施ができる学習展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習展開のタイムマネジメント(導入、見通し、考えを深め広げる場、類似、評価、練習問題) <p>(3) 学力向上につながるICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明確なねらいを持ったICT活用、プログラミング教育、デジタル教科書の活用 <p>教科学習でつけた表現力やタブレット等の情報機器を活用した、児童集会活動等を実施し、自己表現力の育成も図っていく。</p>	
	


学 校 名	湯梨浜町立泊小学校
研究テーマ	つながろう みつけよう 伝えよう 世界の国と鳥取県・湯梨浜町
研 究 の 概 要	
<p>本校は、「潮風の中でたくましく育つ泊の子」を合言葉に楽しく、活気のある学校づくりを進めている。この度は目指す児童像として掲げている「ふるさとを誇りに思う子」の育成を進める取り組み、そして、国際理解教育の一環として、4年生の総合的な学習でICTを活用し、メキシコの日本人学校等の児童とつながり、交流を深める活動を通して、メキシコの文化を理解し、鳥取県や湯梨浜町、泊地区のよさを再発見することを目的に活動している。</p> <p>メキシコとの交流については、令和2年度からメキシコ日本人学校に派遣されていた本校所属教諭を通して、昨年度から行っている。昨年度末に派遣先から帰国し、今年度から本校で勤務していることから、今年度は、交流の回数を増やすとともに、メキシコについて調べる学習や湯梨浜町内のメキシコ料理店を経営する方に来校いただき、お話を聞いたり、メキシコ料理を作ったりする活動を取り入れた。</p> <p>この学習をとおして、世界の国について知り、日本や鳥取県、そして湯梨浜町や自分たちが住んでいる泊地区について再発見となる学習にしたいと考えている。</p> <p>【取組の内容】</p> <p>(1) 交流活動 メキシコの友達と交流しよう</p> <p>(2) 調べ学習 メキシコについて知ろう</p> <p>(3) 体験学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話を聞こう ・メキシコ料理を作ってみよう 	
	



学 校 名	琴浦町立赤碕小学校	
研究テーマ	自ら課題を見つけ、主体的に取り組む子どもの育成 ～つながり合い 認め合い 学び合う学級づくり～	
研究の概要		
<p>本校の児童は、明るく元気で、興味のあることには意欲的に取り組もうとする子どもが多い。しかし、課題である学習意欲や主体的に学ぼうとする意識や態度の個人差が大きく、自分事として課題をとらえ、主体的に取り組んだり関わったりしていこうという姿がなかなか見られない。そこで、今年度は、研究領域を学級活動とし、自分の学級、生活の課題をより自分事としてとらえ、子ども同士が関わり合い、主体的協働的に解決していく学級集団、学習集団作りを目指して実践に取り組んできた。</p> <p>(1) 研究の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分事として主体的に、友だちと協働して取り組む学級活動 ○自分の考えや思いを相手にわかってもらえるように伝える話し方、相手の思いや考えを受け止めようとする聞き方 ○自他を認め合い、よりよい関わり合いができる人間関係づくり <p>(2) 具体的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業研究会（学級活動）指導助言 やまぐち総合教育支援センター 相田宗晴先生、中部教育局指導主事 ○学級活動の積み上げ（定期的な開催、議題ボックスの設置） ○学年部会の定期的な開催と実践の積み上げ <p>(3) 今年度の成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童が主体的に話し合うための仕掛けや議題、話し合いのスタンダードや様々なグッズを準備することで、少しずつではあるが自分事として考える話し合いになりつつある。今後、児童が主体的に課題を解決していこうという意識が育つように、話し合い活動を積み上げていきたい。 		
		 


学 校 名	米子市立明道小学校	
研究テーマ	互いに学び合い、認め合い、高め合おうとする児童の育成 ～“できた”を引き出す学習展開の工夫を通して～	
研究の概要		
<p>本校では、令和2年度から児童の「伝え合う力」を高めることを目的に、国語科を先導教科として、物語文の教材を中心に研究を進めてきた。今年度は、日頃の学校生活や授業で「一人一人の人権を大切に学校生活」「人権尊重の視点を取り入れた学習」を意識することで、子どもたちの「できた」「わかった」という言葉や「学習することが楽しい」、「もっと学びたい」という意欲を引き出すことができると考えた。また、自分の思いを安心して友だちと伝え合ったり、互いの思いを認め合ったりする場や活動を意図的に増やしていき、友だちのことを大切に、互いに成長し合うことのできる人間関係の形成を目指して実践を行った。</p> <p>【研究の内容】</p> <p>(1) 学習環境づくり研究部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の基盤となる学習規律と基本的生活習慣の確立を目指す。 ○基礎学力の定着を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットドリルの活用、タブレット学習ソフトの活用 ・自学コーナーの設置 ・国語アンケートの活用 ○国語科を意識した学習環境を整える。 <ul style="list-style-type: none"> ・学級の掲示物の統一 ○図書館活動の推進を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書との連携と関連図書の実用 <p>(2) 授業づくり研究部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元を通して身に付けさせたい力を明確にした授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの活用 ・重点指導事項を意識した単元計画 ・「めあて」と「まとめ」が正対した学習展開の工夫と評価基準の設定 ・振り返りシートの活用 ・ペアやグループでの活動 <p>(3) 仲間づくり研究部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いを伝え合い、互いに認め合う活動 <ul style="list-style-type: none"> ・よいことみつけ ・委員会活動 ・縦割り活動 ・学級活動やペア学年での活動 		
		


学 校 名	米子市立福生西小学校	
研究テーマ	言葉の力を付け、論理的思考力・判断力・表現力を高める 指導方法の工夫 ～説明的な文章の読みの指導を通して～	
研究の概要		
<p>本校は、「豊かな心と学ぶ意欲をもちかかわり合って たくましく生きる子の育成」を教育目標として掲げ、「笑顔・元気・夢ある学校」を目指し教育実践に取り組んでいる。</p> <p>学習活動を支え、全ての教科等の資質・能力の育成に重要な役割を果たす「言葉の力」の習得を図ることが、確かな学力の定着につながると考える。先導教科を国語とし、説明的な文章の指導方法の充実・改善によって読みの力を高め、論理的に考え表現する力を身に付けた児童の育成を目指す。</p> <p>【研究仮説】</p> <p>◇説明的な文章を取り上げ、①正しく読み取る②筋道を立てて話をする③目的に合った文章を書く④話し合いを行い、考えを深めるなどの言語活動を充実させることにより、児童の思考力・判断力・表現力を育成することができるだろう。</p> <p>◇言葉の力を付けることにより、子どもたちの確かな学力を身に付けることができるだろう。また、その言葉の力を日々の生活に生かすことにより、子ども同士がつながり、自己肯定感や自己有用感が高まっていくだろう。</p> <p>【研究の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○説明的な文章における国語科授業の充実・改善 ○言葉の力を身に付けるための環境づくり ○安心して学習したり、自分の思いを表現したりできる仲間づくり <p>【具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○習得すべき言語活動（言葉の力）についての研究 ○国語科（説明的な文章）における各学年の獲得させたい力の系統性一覧表の作成 ○国語科における授業改善の研究 ○言葉の力を伸ばす機会・環境の工夫 		
		


学 校 名	日吉津村立日吉津小学校	
研究テーマ	一人一人がいきいきと輝き、仲間と共に支え高め合う児童の育成	
研究の概要		
<p>【研究について】</p> <p>本校は、令和6年度に箕蚊屋中学校区の人権教育研究発表校に指定されている。そこで、従来からの課題である「多様性の理解」に着目し、研究を深めることにした。</p> <p>【研究の目標】</p> <p>様々な人との出会いやふれあいを通して、『人としての生き方』に学び、自分自身の生き方を振り返るとともに、自分たちの人間関係やくらしを豊かにしていこうとする意欲と態度を育てることや、よりよい社会の実現に向け、人権の大切さを理解し、身の回りや社会にある様々な人権に関する問題を自分自身の問題としてとらえ、それらの問題を解決していこうとする意欲と態度を育てることを大切にすることとした。</p> <p>【本年度の重点】</p> <p>校内研究においては、学級活動を中心として、次の三つのことを人権教育目標とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①支え合い磨き合う仲間づくり、差別を許さない学級づくり ②差別や不合理を科学的に見抜く力の育成 ③心豊かな人間性の育成 		
		


学 校 名	大山町立名和小学校
研究テーマ	子どもたちが「わかった」「できた」を実感できる授業づくり ～つながり、学び合う子どもたちの育成を通して～
研究の概要	
<p>本校の学校教育目標は、「ふるさと大山を愛し、進んで学び、心豊かで、たくましい子どもの育成」とし、つながりの中で、必要な資質・能力を育む学校づくり・学級づくり・授業づくりを目指している。昨年度より「子どもたちが『わかった』『できた』を実感できる授業づくり」を研究テーマに、算数科を先導教科として取り組んできている。と同時に、教員の授業改革を重点に、児童が「わかった」「できた」を実感できる環境づくりを目指しながら研究を進めてきている。</p> <p>【本年度の研究の重点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業づくり『『できた』『わかった』につながる学び合い』 ○環境づくり「学習に向かう基盤・意欲を高める環境づくり」 ○仲間づくり「つながりを通じた心、仲間づくり」 <p>今年度は授業づくりと共に、学び合いの土台となる仲間づくりにも重点を置き、子どもたちが集団の中で、自分の思いや考えたことを素直に話す姿を目指している。そのためにも学級会や児童会活動での話し合い活動をさらに充実させ、他の学習においても話し合いのスキルを生かすことができるように、指導者のさらなる指導力の向上を目指している。また、課題に粘り強く取り組み、最後まであきらめずに挑戦する個を育てるために、体力の向上にも以下の通り取り組みを進めているところである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロング休憩を活用した外遊びの促進と縦割り遊びの計画的な実施 ・マラソン大会に向けた強化月間の取り組み ・学級づくりとしてのなわとびの奨励となわとび集会に向けた取り組み 	
	



学 校 名	鳥取市立国府中学校
研究テーマ	協働的に学び、確かな学力を身につける授業づくり ～ICT機器を用いた効果的な指導方法の検討～
研究の概要	
<p>本校では、毎年の国や県の調査で自己肯定感や自己有用感に課題が見られ、学校教育目標を「自信と誇りを持ち、未来に向かって挑戦する国府中生徒 ー凡事徹底・夢・主体的な学び・絆」として、日々の教育活動を行っている。本年度の研究テーマを「協働的に学び、確かな学力を身につける授業づくり」として、ICT機器を用いた効果的な指導方法の検討を柱に授業改善を図ることとした。</p> <p>【本年度の主な取り組み】</p> <p><校内授業研究会></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「めあて」「振り返り」「家庭学習」をつなげ、授業に見通しを持たせることで、主体的に学ぶ意欲を高める授業づくりをどう進めるか。 ○生徒同士の協働、教師との対話、先人たちの考え方に触れることを通して、主体的に学びを深める授業づくりをどう進めるか。 <ul style="list-style-type: none"> ・授業参観の視点 A：主体的に参加する授業の視点（授業のUD化…視聴覚支援、ICT活用） B：協働的な学びの視点（「発問」、「学習の形態」、「めあて」の適切さ） <p><校内自主研修会></p> <ul style="list-style-type: none"> ○7月授業アンケート（生徒の授業評価）の分析と課題 <ul style="list-style-type: none"> ・授業の改善すべき点を明確にし、具体的な取り組みについての検討 ○教科の枠組みを超えた共通実践を明確にし、授業のアップデート ○授業の導入、展開、まとめでのICT機器を取り入れた授業改善についての検討と、授業と家庭学習を繋ぐICT活用についての検討 	
 	


学 校 名	鳥取市立千代南中学校
研究テーマ	学校の力を地域の力に！地域の力を学校の力に！ ～地域学校協働活動の充実をめざして～
研究の概要	
<p>これからの学校の在り方として地域連携に重点をおき、地域学校協働活動を推進する。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <p>◎地域協働活動推進員の配置、主任児童委員の校内協力体制への構築、ボランティア組織の改編による地域連携の研究を推進する。</p> <p>1 不登校傾向の生徒への対応 佐治・用瀬の主任児童委員を中心に民生委員の方々の協力により、別室登校等にも対応を可能にする。居場所づくりの確保。</p> <p>2 部活動地域移行への対応 ボランティア組織である既存組織「てごNet」を一新する。部活動の見守り、お手伝い、指導等の項目を加え、環境整備だけではない校区の人材バンクを構築する。</p> <p>3 学力向上対策 ～「主体的、対話的、深い学び」の実現～ コミュニケーションスキルを身に付けるための「千南タイム」、終学活に「ブラボータイム」でたたえ合い、認め合う活動を年間継続して実施する。 「CHA³プログラム」チャチャチャプログラムと言って中学生と地域の方と大学生が小グループになり、地域のことや将来のことについてフリーにトークするプログラムを実施する。自己開示することで、対話力の向上や自己有用感の高まりが非認知能力の向上へとつながり、学力向上も期待できる。</p>	
	


学 校 名	倉吉市立鴨川中学校
研究テーマ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
研究の概要	
<p>本校では、生徒の実態から、答えのない問いや発展的な内容に関して試行錯誤して仲間と解決を図っていく応用力の育成と基礎学力の定着、また、表現力の伸長を図ることめざしている。</p> <p>また、学習の見通しをもちながら、家庭でも計画的かつ主体的に学ぶ力の育成と自ら課題を見つけ粘り強く取り組む力をつけることは、これからの時代を生きる生徒たちにとって非常に重要だと考える。どんな場面でも、主体的かつ協働的に生きる生徒達であってほしいと願い本研究テーマを設定した。</p> <p>【研究仮説】</p> <p>○到達目標と課題の価値、学習の流れを生徒と共有したり、「振り返り」の設定と工夫をしたりすることで、生徒の学習意欲を喚起し、粘り強く主体的な学びに向かうであろう。</p> <p>○自分の考えを持たせ、話し合い活動や表現活動を仕組むことで、主体的・対話的で深い学びを実現することができるであろう。</p> <p>【具体的な取り組み】</p> <p>○研究職員会の開催…中京大学 名誉教授 杉江 修治氏の指導による年2回の研究授業、職員研修会開催</p> <p>○授業づくり部会…学習カードの活用、ランクアップタイムによる授業と家庭学習との接続、自分に合った学び方の獲得、単元の流れの確認、1時間の授業の中の「表現活動」「学び合い（協同学習）」の設定、ICT活用のための職員研修</p> <p>○仲間づくり部会…協同して高め合う集団の育成 生徒の自治的な学級経営、縦割りチームを活かした活動</p>	
	


学 校 名	北栄町立大栄中学校
研究テーマ	お互いを認めあう人間関係づくりを基盤とした自分の思いや考えを表現する生徒の育成
研 究 の 概 要	
<p>本校では授業構築の柱として、10分間の集中力に焦点を当て、50分間の授業を10分ごとの役割を明確にした大栄中5U（ユニット）を実践している。また、これまでにお互いを認め合う人間関係づくりのために、特に協働場면을意識し、自分の考えを表現する場面の設定を工夫してきた。</p> <p>この取組により授業展開に共通性ができることで、生徒は見通しをもって意欲的に取り組み、自分自身の考えを表現できる生徒が増えてきていること、自分は大切にされていると感じている生徒がほとんどであることが生徒アンケートの結果から明らかとなっている。</p> <p>本年度は以下の視点をもちながら、これまでの成果と生徒の更なる人間関係の深まりをめざすことを目的とし研究を進めている。</p> <p>①大栄中5Uを活用した学習スタイルの進化 ②生徒の主体的な学びのための授業展開 ③仲間との対話や協働場面におけるICT機器の活用 ④生徒が自ら学習課題を立て、課題（さまざまな解・多様なプロセス）にむけて協働するための発問を意識した授業構成、授業づくり</p> <p>今後講師による講話と生徒がそれぞれの立場で自分の考えを述べ、他者の意見を聞き、尊重し協力して解を見つけようとする会「大栄中学校区白熱大討論会」を設定する。ここでは、大栄小6年生、鳥取中央育英高校生徒と共に、生徒が自分の本音で他者と意見交換を行うことを通して、自分自身の生き方について生徒一人ひとりの考えが深まることを期待している。</p>	
	 <p>令和5年6月23日校内授業研究会の様子</p>

学 校 名	米子市立福米中学校
研究テーマ	生徒一人ひとりの自治力を高め、ともに考え、学びあう集団づくり
研 究 の 概 要	
<p>目指す学校像である「自治の力を持ち、社会で活躍する力を育む学校」を実現するために、本校は、生徒会目標「心から安心して誰もが楽しめる学校をみんなで築こう」のもと、班や学級において「話し合い活動」を中心とした「自治の取り組み」に継続して取り組んできた。その中で培った学級のあたたかい雰囲気や人間関係を軸として、「協同学習」の視点を取り入れた授業改善を行ってきた。</p> <p>令和5年度は、計画的なSSTやGWTなどを学校全体で取り組み、学習にむかう集団づくりを目指すとともに、学校行事や生徒会活動において生徒一人一人が主体的に取り組む自治的な活動を推進し、「わかる喜び」や「学ぶ実感」を味わわせ、全員が主体的に参加する授業研究やカリキュラムマネジメントに取り組んでいる。</p> <p>【具体的な取り組み】</p> <p>○授業研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業チェックシートの重点項目を意識した学期ごとの授業実践 (ICT活用・アウトプットの充実など) ・全職員が授業公開をする取り組み ・教科会の充実 <p>○カリキュラムマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科横断的な単元開発とプロジェクト型授業の研究・先進校視察(福岡教育大学附属小倉中学校ほか) ・探究学習を軸とした総合的な学習の時間および3年間の系統性や行事との関連を重視した特別活動の改善 	
	 <p>体育祭全校ダンス</p>

学 校 名	南部町立南部中学校	
研究テーマ	ふるさとを愛し、志高く、南部町から未来を切り拓くひとづくり ～コミュニティ・スクールによる「地域とともに歩む学校」をめざして～	
研究の概要		
<p>南部町では、コミュニティ・スクールの導入により「地域とともにある学校づくり」を充実させるとともに、「学校を核とした地域づくり」を進めることをひとつの目標としている。</p> <p>コロナ禍によって一時停滞を余儀なくされた諸活動を見直し、今年度は「C.S.リスタート元年」と位置づけて、活動組織の刷新や活動内容の精選、工夫改善を加えながら取り組んでいる。</p> <p>【具体的な活動・内容】</p> <p>(1) 「南部中学校へ来てみてごしない！」</p> <p>地域の方々に、学校に関心を持っていただく！学校へ足を運んでいただく！学校と地域を繋げよう！という趣旨で、学校の行事やイベントを広く地域に広報し、参加を頂いている。</p> <p>○壮行会 ○芸術鑑賞教室 ○体育祭 ○防災学習 ○米子高校美術部作品展 ○文化祭 ○法勝寺電車100周年記念展 ○人権学習（演劇公演） ○中学校作品展 etc.</p> <p>(2) 「まち未来科～地域の伝統継承学習・先輩に学ぶ・職場体験・まち未来会議～」</p> <p>中学校独自の「ふるさと学習」に対して、人材発掘・紹介、職場開拓、オブザーバー等に協力を頂いている。</p> <p>(3) 「コミュニティ・スクール活動の活性化」のための改革、周知、啓発広報、案内</p> <p>構成委員の人選（刷新）、活動のPR（さまざまな媒体、方法を使った広報）、地域とつながる企画や案内を効果的・積極的に進めている。</p>		
		 

学 校 名	鳥取大学附属特別支援学校	
研究テーマ	地域とつながり、将来の生活を広げるための知的障害特別支援学校 高等部における作業学習での取り組み	
研究の概要		
<p>本校は本年度より、生涯学習の観点で研究を進めており、地域と繋がり社会に開かれた教育活動に取り組んでいる。高等部での作業学習での実践について報告する。</p> <p>【具体的な取り組み】</p> <p>高等部作業学習「サービス班」では校内外の受託作業に取り組んでおり、図書館事務作業も行ってきた。本年度は学校図書館だけでなく、校外への貢献も視野に入れて学習活動を展開している。通常の作業に加え、次の活動も取り入れた。知識、技術の習得を目ざし、様々な種類の書籍のブックカバー掛けを行った。技術の向上を目ざし、プロの方の指導をうける(11月予定)。目標決めと振り返りの時間を充実させた。</p> <p>【学校図書館という題材の良さ】</p> <p>自分たちが整備した本が使用されることで、仕事の成果が見て分かること、社会との繋がりを実感できること、技術の向上を感じやすいことなど、「働くことの意義」を自然と感じられる。</p> <p>【生徒の成長】</p> <p>図書作業の技術が高まるにつれ、「(私もできたから) 挑戦してみたら。」と声を掛け合ったり、「これは難しそう。でもやってみようかな。」とつぶやいたりする姿が見られ始めた。助成金を使用して、おそろいの作業用エプロンを購入し、必要な物品を買いそろえたことで、作業への意欲もより向上している。</p> <p>【今後の取り組み】</p> <p>本年度後半は鳥取大学や地域の公民館などの書籍の整備にも挑戦し、学校から地域へ取り組みの場を広げていく予定である。</p>		
		
		ブックカバー掛けの様子

学 校 名	学校法人かいけ幼稚園 認定こども園かいけ心正こども園
研究テーマ	水書を活用し書くことへの感性を育むとともに、 書写教育との連携を図る。
研 究 の 概 要	
<p>本園は「つよいからだとおもいやりの心をもつ生きる力のあるこどもを育てます」を教育理念とし、こどもの無限の可能性を広げるお手伝いをするために、「造形教育」「モンテッソーリ教育」「英語教育」「食育」の特色ある教育に取り組み、ICT教材による活動も行っている。</p> <p>そのような中、本年度書写教育の専門家である園長が着任し、園児の筆記用具の持ち方に課題意識を持った。特に年長児は就学に向けて筆記用具の正しい持ち方習得の必要性を感じたため、水書を活用しデジタルとアナログをバランスよく取り入れた活動を推進することとした。水筆を用いた文字遊びを通して、書くことへの感性を育むとともに、小学校書写へのスムーズな連携を図ることを目的として取り組みを進めている。</p>	
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わくわく書道パフォーマンス！ ・年長児による夏をテーマにした作品を書く。 ・水書布・水筆を活用し、線や文字を書こう！ ・筆の正しい持ち方を意識しながら線を書く。 ・書初めしよう！ ・好きな言葉や好きな絵を墨を使って自由に書く。 	
	

学 校 名	愛真幼稚園
研究テーマ	「あそびの保育」を支える園庭整備の在り方の実践的検討
研 究 の 概 要	
<p>【はじめに】</p> <p>本園では「遊びの保育」を保育の中心に据え、子どもたちがそれぞれ自発的に遊べる環境を整え、園庭には多彩な遊具や設備を設置している。日常的に動植物に接し、自然に触れる環境を整備しており、池にはメダカが泳ぎ、園庭には50種類以上の木々が植樹されている。適度に伸びた雑草の草むらには虫たちが住み、石の下には子どもたちの大好きなダンゴムシがひしめいている。しかし、この園庭環境を単に維持するのではなく、季節に適した子どもの遊びを誘導するように季節ごとに変化させることも重要である。</p>	
<p>【本年度の取組み】</p> <p>本年は6月中旬に保護者の協力を得て、砂場を掘り起こしてブルーシートを敷き詰め、伐採した樹木の玉切り丸太と土嚢で周りを囲って水を張り「じゃぶじゃぶ池」に改造した。幅広の滑り台を設置し、ウォーターライダーとした。水は週2～3回入れ替え、プールと同様の水質管理を行った。9月初旬に再び保護者の協力を得て、元の砂場に戻した。</p>	
<p>【観察と解析】</p> <p>園庭における子どもたちの行動・遊び方を観察し、園庭整備の在り方を実践的に検討するのが本研究の目的である。改造前の砂場での泥んこ遊びから、じゃぶじゃぶ池での水遊びに移行する。同時期に設置したプールでの行動や遊び方との違いが興味深いところである。また、砂場に戻した後の子どもたちの行動の変化を、季節の変化を踏まえて検討する。</p>	
	
<p>「じゃぶじゃぶ池」への改造作業 完成した「じゃぶじゃぶ池」</p>	

取り組みのご紹介

花 いっぱい運動で子どもたちの心に笑顔を届け、健やかな成長の一助とするため、幼稚園・認定こども園にチューリップの球根を贈呈しています。



北栄町立由良こども園 



お水を
いっぱい
あげるよ

琴浦町立しらとりこども園 



聖テレジアこども園 

ありがとうございました！

頑張れ!! 給付奨学生

(令和4年度 奨学生からの成果報告書より)

このたびは、奨学金の支援をいただき、誠にありがとうございます。

奨学金は、大学受験に向けての参考書の購入や模試の受験料に使わせていただきました。この奨学金のおかげで、とても良い学習環境が整えられたと思います。先日行われた大学共通テストでは目標点には届かなかったものの、4月の模試の結果より100点近く点数を伸ばすことができました。私はこの受験期間を通して家族や友達、先生やこうして支援してくださった日本教育公務員弘済会の皆様など、本当にたくさんの方々に支えられていると感じました。先生がよくおっしゃる「受験は団体戦」という言葉の意味がよく分かりました。私を支えてくださった多くの方々にできる一番の恩返しは、志望校に合格し、大学でしっかり学ぶことだと思います。皆様に最高の恩返しができるよう、二次試験に向けて、最後まで諦めず勉強に励んでいこうと思います。

本当にご支援ありがとうございました。

【Kさん】

ご退職後の生活設計講座の取り組み

公益財団法人日本教育公務員弘済会鳥取支部では、ご退職を予定しておられる先生方を対象に、退職後の生活設計に役立てていただくために専門のライフプランナーを招聘して講座を開設しています。

例年、大変好評をいただいている講座です。皆様のご参加をお待ちしています。

【講座内容】

- ◇ 鳥取教弘友の会について
 - ◇ ご退職後の教弘保険の手続きについて
 - ◇ 「知っとくご退職後の生活設計講座」
～リタイアメントナビ～
 - ・ステップⅠ ご退職後の環境変化に備える
〔健康保険は?〕〔公的年金は?〕〔税金は?〕
 - ・ステップⅡ 豊かに暮らすための資金管理について
〔生活資金を守る〕〔介護等の備え〕〔相続のこと〕
〔金融商品のメリット・デメリット〕
- ☆ 個別相談会…相談終了後、各自解散



【全県対象 開催予定日】

日時 令和5年11月18日(土) 10:00～12:00

場所 新日本海新聞社 中部本社

教弘保険ご継続のおすすめ

★所定の保険商品（ユース・第1種等）を除く

ポイントの
継続の
おすすめ
は3つ!!

ポイント
1

現職と同じ保障内容・保険料で65歳まで継続できます！
保険料は生命保険料控除の対象となります。

ポイント
2

65歳まで継続すると80歳まで保障延長することができます！
健康状態に関わらず、ご加入いただいている死亡保険金の範囲内で新教弘
保険K型に加入し保障延長することができます。
※新教弘保険K型の保険料は、加入・更新年齢・性別によって異なります。

ポイント
3

ご退職後も弘済会鳥取支部の実施する福祉事業（指定宿泊施設利用補助、
65歳未満の方は健康増進費用補助）をご利用になれます。

※ご契約にあたっては必ず共済事業（提携保険事業）提携保険会社：ジブラルタ生命の「契約概要」「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。

教弘保険の継続で、「最終受益者は子どもたち」のために、学校の応援団として「たすけあいの輪」を広げていきましょう。

退職後は「友の会」!

退職された教弘保険の加入者は「鳥取教弘友の会」の会員となり、現職のときと同じように、指定宿泊施設利用補助、65歳未満の方は健康増進費用補助の福祉サービスを受けることができます。

また、校種を超えて交流ができると好評の地区別総会や親睦を深めるための研修旅行を毎年行っています。昨年度の総会は、新型コロナウイルス感染症の影響で昼食交流会ができない地区がありましたが、今年度は全ての地区で実施できました。また、研修旅行「NHK連続テレビ小説『らんまん』ロケ地訪問、観光列車『四国まんなか千年ものがたり』で紅葉を堪能する四国縦断2日間の旅」も予定しています。これまで旅行に参加された皆さんには大変喜んでいただいています。リピーターの方もたくさんいらっしゃいます。会報や教弘手帳も配付しています。

退職後も教弘保険を継続し、「友の会」会員として弘済会を盛り立ててください。



中部地区総会 門脇康一・門脇卓人による「ギター鑑賞」
(令和5年10月11日)

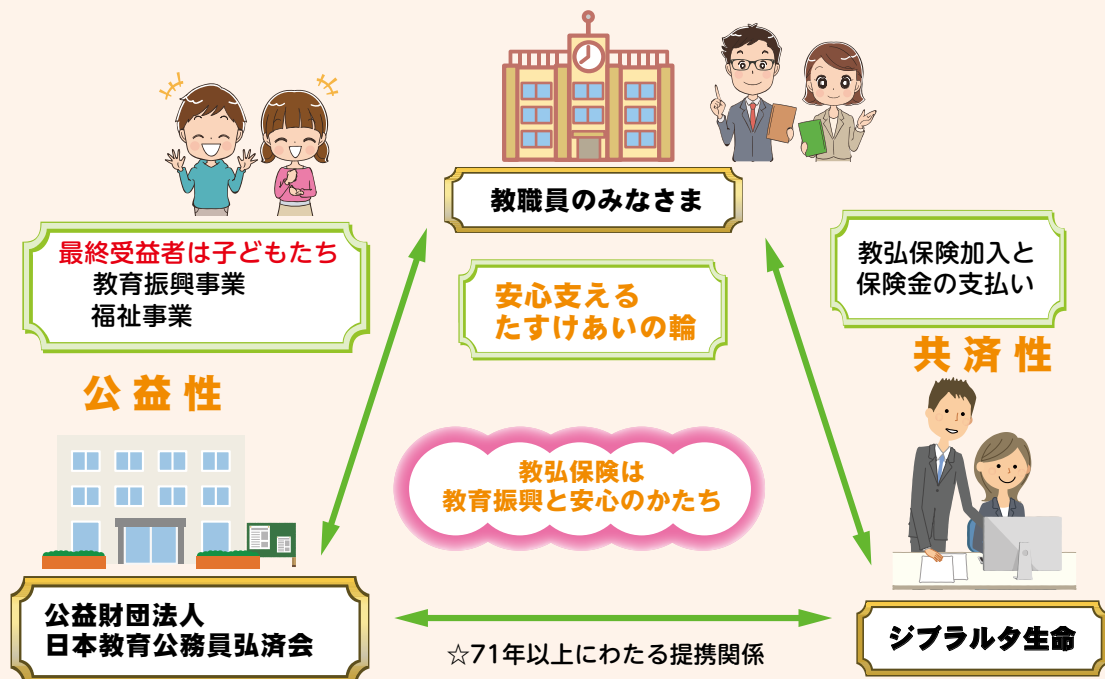


西部地区総会 桂文吾師匠による「落語鑑賞」
(令和5年10月20日)

～すべては子どもたちのために～

たすけあいの輪

相互扶助の精神から生まれた公益財団法人日本教育公務員弘済会





先生 大人は
なんで保険に入るんですか？

大人になると、責任が増えます。守りたい、守らなければいけない人が現れてきます。
でも、もしも予期せぬことがあって、大きなお金が必要になったら……。大切な人を守りきれなくなるかもしれません。
そのとき、たくさんの人から少しずつ集めておいたお金を、まとめて、必要としている人に「使ってください」と渡すことができれば……。これが「ひとは万人のため、万人はひとりのため」と考える保険の思想。
人はひとりで生きるより、助け合って生きるほうが素敵だし、賢い。そう思って、大人は保険に入ります。

先生の保険

教職員だけが入れる 「教弘保険」
34歳までは 「ユース教弘保険」
35歳からは 「新教弘保険」

*お気軽に、弊社ライフプラン・コンサルタントにお声がけください

校長先生が
新人教師だった頃
入った保険に、
私も今、入ります。



先生のための教弘保険

共済事業（提携保険事業）提携会社
ジブラルタ生命保険株式会社
本社 / 〒100-8953 東京都千代田区永田町2-13-10
コールセンター
0120-37-9419

ジブラルタ生命のホームページ <https://www.gib-life.co.jp>

日教弘会員の教職員の皆さまだけの保障プラン

「ユース教弘保険・新教弘保険A型」



「ユース教弘保険・新教弘保険A型」5つの特長

①生活設計に合わせて加入できる死亡保障プラン

死亡や高度障害など、万一のときに備える保障。集団契約特約を付加することにより低廉な保険料で加入できます。

②ご加入時の年齢や性別に関わらず保険料は一律です

今回ご提案するプランは、ご加入時の年齢や性別にかかわらず、保険料が一律です。ユース教弘保険：保険年齢34歳までご加入可 新教弘保険A型：保険年齢60歳までご加入可

③60歳以下の健康な方ならお申込OK!!

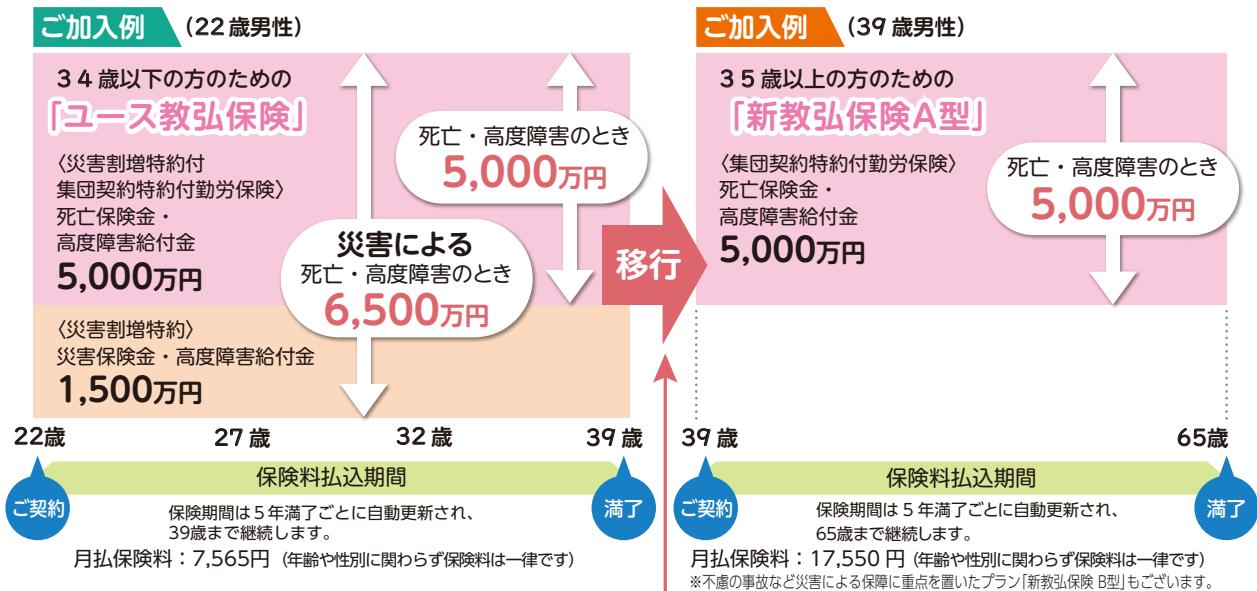
公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員の方のうち、学校、その他の教育機関に勤務する教職員及びこれに準ずる方で、保険年齢34歳以下の方はユース教弘保険、保険年齢35歳以上60歳以下の方は新教弘保険A型に、年齢・性別に関係なくお申込できます。退職後も保障期間満了時(65歳)までご継続できます。

④ユース教弘保険から新教弘保険へ移行できます

ユース教弘保障期間満了時におきましては、ユース教弘保険の死亡保険金の範囲内で医師の診査を受けることなく新教弘保険に移行できます。(但し、現職の教職員の場合に限りです)

⑤リビング・ニーズ特約付きでより豊かな人生設計を

余命6か月以内と判断される場合、生きている間に保険金をお受取になれるので、より安心です。この特約の保険料は不要です。※余命6か月以内の判断は、被保険者の主治医の診断や請求書類に基づいて、当社の医師の見解(場合によっては、社外医師のセカンドオピニオン)も含めて慎重に判断いたします。余命6か月以内とは、ご請求時において、日本で一般的に認められた医療による治療を行っても余命6か月以内であることを意味します。



ユース教弘保険から新教弘保険A型へ移行できます

ユース教弘保険の保障期間満了後、ユース教弘保険の死亡保険金の範囲内で医師の診査を受けることなく新教弘保険A型に移行することができます。(ユース教弘保険の保障期間満了時に現職の教職員でない場合は、ユース教弘保険の死亡保険金の範囲内で医師の診査を受けることなく平準定期保険(無配当)に加入することができます。)

「教弘保険」に できること。

教職員とご家族の皆さまに安心をお届けします。

公益財団法人 日本教育公務員弘済会(略称: (公財)日教弘)の教育振興事業(奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業)および福祉事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

教職員の皆さま

各種の公益事業

安心支える
たすけあいの輪

教弘保険加入と
保険金の支払い

日本教育公務員弘済会
(略称: (公財)日教弘)

ジブラルタ生命

70年以上に
わたる提携関係

共済事業(提携保険事業)提携会社

ジブラルタ生命保険株式会社

本社/〒100-8953 東京都千代田区永田町2-13-10

※ご契約の際はジブラルタ生命のライフプラン・コンサルタントを通じて「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」をご確認ください。

教職員のお客様

0120-37-9419

(通話料無料)

Gi-J-2023-010 (YK: 2026.9.30)

教育業務中だけでなく、日常生活でのトラブルからも 教職員の皆さまをトータルでお守りします。

👁️ 教職員のみなさま専用の保険

2023年8月～2024年7月加入のご案内

教弘まなびや スーパープラン

教職員賠償責任保険 + 団体総合生活保険(まなびや)

(団体総合生活保険)
団体割引・損害率による割引をあわせて

約 37 % 割引

※天災危険補償部分の保険料は、
団体割引のみ適用となります。

教職員賠償責任保険

教職員業務の遂行に起因した**損害賠償請求に！**

- 1 教職員個人の**争訟費用**(弁護士費用等)および**損害賠償金**を補償！
- 2 **初期対応費用**も補償！(身体障害を被った被害者への見舞金等)
- 3 **適及補償**
初年度**加入日より前に行った行為**に起因する請求も補償！
※詳細はパンフレットP.8をご参照ください
- 4 **延長補償** ※詳細はパンフレットP.8をご参照ください
教職員でなくなった後になされた請求についても**5年間**補償！

教職員個人が訴えられることも…



団体総合生活保険(まなびや)

- 1 **ご本人のケガを入院・通院1日目から補償します。**学校行事中等のケガは**倍額補償!**
※天災(地震もしくは噴火またはこれらによる津波)によるケガについても補償します。(特定学校行事中・宿泊旅行中・通勤途上等)
- 2 生徒の**見舞い費用**も補償！
(生徒がケガにより死亡または15日以上継続して入院した場合の入院見舞金、弔慰金等)
- 3 **携行品損害・救援者費用等**も補償！
示談交渉サービス付帯(国内のみ)
- 4 ご本人およびご家族の日常生活での**賠償事故**を補償！
(他人から預かった物等を損壊した場合の賠償事故も補償)
- 5 **O-157等の特定感染症**も補償！

■部活動指導中にケガをする。
治療費

■自転車で他人にケガをさせる。
損害賠償金

示談交渉サービス付帯(国内のみ)

自転車条例にも対応!

自動更新

2023年8月1日始期 2023年8月1日午後4時～2024年8月1日午後4時(1年間)

中途加入の補償期間 加入依頼日の属する月の翌月1日午前0時～2024年8月1日午後4時 募集期間 2023年6月1日(木)～2024年6月20日(木)

加入者資格 公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方

1. 公立学校の教職員
2. 国立学校および私立学校の教職員
3. 教育委員会の職員
4. 教職員団体の役員及び職員
5. 日教弘および日教弘の本部および各県の職員
6. 1.～5.の退職者

被保険者になれる方の範囲

公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方

1. 公立学校の教職員
2. 国立学校および私立学校の教職員

【ご注意】教育委員会・教育事務所の職員の方は、被保険者になれません。

※「教職員」とは、学校教育法に規定する学校の校長および教員ならびに部活動を指導する教育関係の職員等
2023年2月作成 募集文書番号22T-100151

この案内は、「教職員賠償責任保険」「団体総合生活保険(まなびや)」の概要について説明したものです。**保険の内容**は、**パンフレットをご覧ください。**詳細は団体が保有する保険約款により、ご不明な点がありましたら、代理店または引受保険会社(東京海上日動火災保険㈱)におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

**ホームページから資料請求いただいた方へ
もれなく粗品をプレゼントしています →**

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 www.nikyoko.or.jp



鳥取県公立学校教職員および退職者の皆様へ

団体扱自動車保険のご案内

トータルアシスト自動車保険

団体扱契約は
一般契約に比べて

約 **17%**
割安!!^{*1}



*1 団体扱割引は12%です。団体扱割引12%は、保険期間の始期日が令和5年10月1日から令和6年9月30日までの契約に適用されます。割引率は、団体の損害率等により毎年見直されます。団体扱一時払は一般契約一時払に比べて5%割安です。団体扱分割払は一般契約と異なり分割割増がかからないので約5%割安となります。

※上記割引率は、次のとおり、団体扱割引等を連算して算出しております。

一時払の場合：1 - { (1 - 団体扱割引・12%) × (1 - 団体扱一時払割引分・5%) }

分割払の場合：1 - { (1 - 団体扱割引・12%) × (1 - 一般契約分割割増分・約5%) }

※団体扱の対象となる方の範囲（契約者・記名被保険者・車両所有者）や団体扱・集団扱特約失効時の取扱い等については、代理店または東京海上日動までお問い合わせください。

ご存じ
ですか!?

ドライブレコーダー付き自動車保険 ドライブエージェント パーソナル（DAP）

ドライブエージェントパーソナル（DAP）は「事故発生の通知等に関する特約」をご契約いただいたお客様にご提供するテレマティクスサービスです。

もしもの事故も、いつもの安心も。ドライブレコーダーが見守ります！



前方はバッチリ！
前方1カメラ型

特約保険料*2
月額**620円**



後方も撮影可能！
2カメラ一体型

特約保険料*2
月額**810円**

*2 保険期間1年、団体扱の場合の分割払保険料です。

端末は2種類をご用意！いずれも以下のサービスをご提供します。

「安心・安全」をお届けする3つのサービス

「いざ」
という時も

高度な事故対応サービス

日常の
運転中も

事故防止支援サービス

ご契約の
更新時も

安全運転診断サービス

サービスの概要について
動画でもご案内しています

前方1カメラ型



2カメラ一体型



東京海上日動オリジナルドライブレコーダーの主な特徴（共通）

映像を鮮明に
記録

自動で事故連絡&
通話も可能

常に最新版に
自動アップデート

事故時の映像を
自動送信

※事前にご確認いただきたい主な注意事項等、詳しい手続方法は専用チラシ等でご確認ください。

引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社

0108-ET52-B22070-202209

お見積りはカンタンです!!

ご依頼方法は e-mail または FAXで!



e-mail到着後、ご連絡いたします。
t-kyoko.sonpo@theia.ocn.ne.jp

件名を「見積り希望」、
本文にはお名前と勤務先をお知らせください。

●アドレスはすべて半角英数字で入力してください。

お手元にご用意いただくと
スムーズです。

運転免許証 保険証券（現在ご契約の方） 車検証（お車の型式がわかるもの）

FAXの場合は、本シートに必要事項をご記入のうえ、「車検証」と「保険証券」の3点を下記FAX番号までご送付ください。

Q1 お車を主に使用される方の運転免許証の種類（色）は？ <input type="checkbox"/> ゴールド <input type="checkbox"/> ブルー <input type="checkbox"/> グリーン （免許証の有効期限： 年 月 日）	Q3 お車の主な使用目的は？ <input type="checkbox"/> 日常・レジャー <input type="checkbox"/> 通勤・通学 <input type="checkbox"/> 業務使用
Q2 お車を主に使用される方と同居のご親族について ●車を運転される一番若い方の年齢-----（ 歳） ●自動車の保有台数-----（ 台） ●直近1年間での事故（自動車保険による保険金支払のあった事故） ----- <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	Q4 お車を主に使用される方（記名被保険者）はどなたですか？ フリガナ _____ お名前 _____（生年月日： 年 月 日）
Q5 お車を運転される方の範囲は？ <input type="checkbox"/> 本人のみ <input type="checkbox"/> 本人・配偶者のみ <input type="checkbox"/> 限定しない	

フリガナ		フリガナ	
お名前		ご勤務先・所属	
フリガナ			
ご住所	〒 _____		
生年月日	大正・昭和・平成 年 月 日（ 歳）		
ご連絡先	勤務先・ご自宅・携帯		
e-mailアドレス			

ご送付ください!!

※当代理店は、ご提出いただいた個人情報を東京海上日動より委託を受けて行う損害保険の募集およびこれに付帯・関連するサービスの提供等に利用させていただくことがあります。東京海上日動における個人情報の取扱い等については、ホームページ（www.tokiomarine-nichido.co.jp）に掲載しております。

「トータルアシスト自動車保険」は、総合自動車保険のペットネームです。このチラシは自動車保険（団体扱）の概要についてご紹介したものです。ご契約にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。また詳しい補償内容については「ご契約のしおり（約款）」に記載していますので、必要に応じて東京海上日動のホームページ（www.tokiomarine-nichido.co.jp）でご参照いただくか、代理店または東京海上日動にご請求ください。ご不明な点等がある場合は、代理店または東京海上日動までお問い合わせください。

お問い合わせ先	【代理店】 株式会社 鳥取教弘 住所：〒680-0833 鳥取県鳥取市末広温泉町608 TEL：0857-26-5334 FAX：0857-22-0248	【保険会社】 東京海上日動火災保険株式会社 山陰支店 鳥取支社 住所：〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2-351 TEL：0857-23-2201
---------	--	--

鳥取支部教育実践研究論文

募集中

1 募集対象 国公立の幼・小・中・義務教育学校・高・特別支援・高専等の各学校及び教育機関等ならびにそこに勤務する教職員・教育研究団体等の教育関係者。

2 主 題 日々の教育活動の中での実践研究をまとめる。

3 論文量 A4判横書き、24字×43行の2段組(4枚)。(資料、写真等を含む)

4 募集区分

ア 学校(団体)研究

- ・最優秀賞 10万円
- ・優秀賞 5万円
- ・奨励賞 3万円

イ 個人(グループ)研究

- ・最優秀賞 5万円
- ・優秀賞 3万円
- ・奨励賞 2万円

5 募集締切 令和6年(2024年)1月25日(木)



令和6年度 日教弘奨学金 大学生等対象の貸与奨学金

無利息

募集期間を確認してください

- ☆ 募集人員 35人程度
- ☆ 第一次募集 令和6年2月1日～3月29日
現大学生等及び令和6年度大学等入学予定者
申請書にて応募
- ☆ 第二次募集 令和6年4月1日～6月26日
大学生等 申請書にて応募

対 象	貸与限度額	返還方法
・大学 ・大学院 ・短大 ・高専 ・各種専修学校	100万円	100万円の借用者は、卒業見込みの年から、原則として10年以内の年賦償還 (それ以外は、金額に応じ8年以内) (無利息)

- ◇選考委員会で選考し、幹事会または三役会で決定する。
- ◇奨学生は、卒業後に成果報告書を提出する。